

2010 年 6 月 8 日

報道関係各位

中部学院大学短期大学部

幼児教育学科

幼児教育学科 杉山祐子准教授と㈱電算システムが連携

## iPad とピアノ楽譜ソフトを活用した授業を開始します

中部学院大学短期大学部（学長 片桐多恵子）幼児教育学科では、「iPad（アイパッド）」と、楽譜ソフト「SonataNote 教育版」を活用した授業を 6 月 15 日（火）から始めます。

同学科では保育現場で求められるピアノ技能習得に力を入れてきました。杉山祐子准教授はピアノ技能習得方法として IT を活用した研究を以前より試みていました。短期間でピアノ技能向上に不安を感じている学生が多い現状を踏まえ、今回、㈱電算システムが開発した楽譜ソフト「SonataNote」に教育的機能の追加を要請しました。今回のプロジェクトは、初心者でもピアノ練習に取り組みやすい工夫がされています。不安を解消しながら、楽しく効率的なピアノ技能向上が期待されています。

また、同学科では前年度より、文部科学省が実施する「大学教育・学生支援推進事業（学生支援推進事業）」の採択を受けており、現場や地域のニーズと学生の能力を見出して、必要とされる人材育成とミスマッチのない就職を推進しています。前年度の就職率は 2 年連続で 100% を達成しており、今回の iPad を活用した授業で、満足度 100% を目指し、さらなる飛躍が期待されます。

### [実施計画]

中部学院大学短期大学部 幼児教育学科における

iPad + 「SonataNote(ソナタノート) 教育版」を活用したピアノ技能向上プロジェクト

### 「ホップ ステップ ピアニスト」

『iPad で不安解消、楽しく効率的にピアノ技能向上』

【第 1 回運用】 2010 年 6 月 15 日（火） 11:00～12:00

関キャンパス 4 号館 1 階音楽リズム室（関市桐ヶ丘二丁目 1 番地）

記事や話題として取材していただける場合、ご迷惑をおかけしますが、準備の都合上、15 日の授業で取材をお願い致します。（事前のお問い合わせは下記までご連絡ください）

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 短期大学部 幼児教育学科（担当：杉山 祐子 准教授） TEL:0575-24-2211（関キャンパス）

i P a d + 「SonataNote(ソナタノート) 教育版」を活用した

ピアノ技能向上プロジェクト

## 「ホップ ステップ ピアニスト」

『i P a dで不安解消、楽しく効率的にピアノ技術技能向上』

### 1. 目的

幼児教育学科学生のピアノ技能を、楽しく効率的に向上させる。

### 2. 経緯

本学幼児教育学科は、より良い保育士・幼稚園教諭などの保育者育成を目指している。ピアノ技能は、保育の現場で活躍するために不可欠である。かねてよりピアノ技能向上のための IT 活用研究を試みていた中部学院大学短期大学部 杉山祐子准教授は、(株)電算システムが開発した楽譜ソフト「SonataNote(ソナタノート)」に教育的効果があると判断。さらに教育的効果が期待できる機能の追加を要請し、教育用に改良した。

### 3. i P a dの利用理由

#### ■ 幼児教育学科進学を目指す高校生

「ピアノ技能」は入学後の不安要素の第1位に挙げられている。

「ピアノ未経験でも、2年間で弾けるようになるだろうか」

「楽譜が読めないが大丈夫だろうか」

「ピアノの練習が楽しくできる指導・支援をしてもらえるのだろうか」など。

今回のプロジェクトにより、目や耳を働かせて曲を感じるにより、その不安解消を目指す。

#### ■ 在学生

ピアノ技能向上には、週一度のレッスンのほか、自己学習が重要な場となっている。いつでもどこでも i P a dを取り出して学習できることや、i P a dの楽しさでやる気と根気を持続できることを目指す。「画面楽譜」に「音のナビゲーション」を加えることによって、正しい曲のイメージ把握できるとともに、1つ1つの音を正確に理解できる。

#### ■ 保育士になった卒業生

保育現場では、就職条件にピアノ技能は不可欠であり、大学側に学生のピアノ技能向上を強く期待している。就職後の卒業生も、レパートリーを増やすなど更なるピアノ技能向上が求められている。就職後もこのプロジェクトにより学びを継続し、専門職としての一層の技能向上を目指す。

#### 4. 特 徴

##### ■ i P a dの利点

- 1) 薄型軽量。紙の楽譜と同様な感覚で持ち運べ、ピアノの譜面立てに置いて使用できる。
- 2) タッチパネル操作で、配線・キーボード操作不要。

##### ■ 「SonataNote(ソナタノート)」の利点

- 1) 横型で大きく見やすい楽譜。
- 2) ナビゲーションつき自動再生音機能で、音量調節、部分再生が自由。画面楽譜の演奏中の小節を赤く表示する。
- 3) オート譜めくり機能で、演奏を中断しなくても次ページへ進める。
- 4) マニュアル譜めくり操作は、画面のタッチで楽譜が前後自由にめくれる。
- 5) メトロノーム機能で、拍の刻みが音とライトでナビゲーションされ、正確なリズムが学習できる。再生速度を調整できるので、速度を学習段階に合わせられる。

##### ■ 教育版への機能追加点

- 1) パート別自動再生機能で、片手ずつの再生音が聴ける。
- 2) 各養成校が使用している教材（バイエル・子どもの歌集など）の組み込み。
- 3) 初心者でも楽譜が理解しやすい工夫。小節割や記号の配置を整備、記号の横に読み方・意味を追加。
- 4) 進行経過が一目で分かるよう、小節番号・ページ番号を明記。
- 5) 縦型表示の紙楽譜同様の通常楽譜機能。横型表示より1画面の内容が多く、どこでも軽くタッチすると譜めくりができる機能。

#### 5. 効 果

- 1) 場所を選ばず、少ない時間でも楽しみながら学習できる。
- 2) 効率良い学習が可能。実際のピアノの前で目で楽譜を追い耳で正しい音を確認できることで、練習中の間違いが減少する。
- 3) 片手練習が正確にできる。片手の再生音を聴きながらもう一方の手の練習ができ、両手演奏の準備ができる。

#### 6. 今後の発展

- 1) 手書きでの書き込み機能（個別対応支援）で、担当教員や学生同士の交流を図る。指導者が学生に合ったポイントの注意やアドバイスを、手書きの書き込みでき、保存できる機能（赤色など）。
- 2) 自分たちで作曲・編曲した楽譜などを送信することにより、「SonataNote」で学生同士が共有し、利用できる機能。

## 【資料】 (株) 電算システムの「SonataNote」について

「SonataNote」は、iPadの画面にピアノの楽譜を表示し、従来の紙の楽譜の代わりにピアノの譜面台などにおいて、ピアノの演奏練習ができるアプリケーションです。有名なクラシックをはじめ、小学校低学年からの音楽の授業等で演奏される、日本の童謡曲の楽譜も付属しており、成人から子どもまで楽しんでいただけます。また、ピアノを教える先生、ピアノ教室に通っている生徒、音大生などの方々にピアノの練習に役立つ様々な工夫が施されております。

### 【SonataNoteの主な特徴】

「SonataNote」には、6つの楽曲集に全35曲がインストールされております。「SonataNote」を起動すると、最初に楽曲集を収納した本棚の画面が表示されます。この本棚に並んでいる楽曲集をタッチすると、その楽曲集に収録されている曲の一覧が表示されます。曲の一覧の先頭にある再生ボタンをタッチすると、その曲のメロディが再生され、曲の内容を視聴して確認することができます。また、曲のタイトルをタッチすると、その楽譜が表示されます。iPadに表示された楽譜は、フリック操作（※2）により簡単に次のページ、前のページの楽譜に切り替えることができます。また、演奏に合わせて、現在演奏中の小節位置を表示しながら、自動的に楽譜をページ送りすることもできます。この「自動譜めくり機能」を利用して、演奏の練習、ピアノ発表会での演奏に役立てることもできます。その他、演奏の練習で曲のテンポを音や光で確認できる「メトロノーム機能」（※3）、曲のテンポを調整する「テンポ調整機能」、曲の「自動演奏機能」がありますので、ピアノの練習のみならず、名曲を鑑賞することもできます。

（※1） 「iTune AppStore」Apple社が運営するiPad, iPhone, iPod touch向けアプリケーションのダウンロードサービス。

（※2） 「フリック操作」 iPadの画面上を指でこすり、紙をめくるような操作。

（※3） メトロノーム機能 演奏の練習で曲のテンポを音や光で確認できます。

## (株) 電算システムについて

株式会社電算システム（代表取締役社長執行役員 宮地正直 東証/名証 二部：3630）は1967年に岐阜県で創業して以来、独立系総合型情報処理サービス事業として、情報処理サービス事業と収納代行サービス事業の2つの分野で事業を展開しています。

詳細については電算システムのホームページ（<http://www.densan-s.co.jp/>）をご覧ください。

### (株)電算システムへの問い合わせ先

報道関係者様からの問合せ先 株式会社電算システム 業務企画室 渡邊利恵

電話：03-3206-1860 E-mail: [rie\\_watanabe@densan-s.co.jp](mailto:rie_watanabe@densan-s.co.jp)

お客様からの問合せ先 株式会社電算システム IT 研究所 和田純平

E-mail: [sonatanote@densan-s.co.jp](mailto:sonatanote@densan-s.co.jp)